

JCD2024 年次大会（青森大会）

一社・日本コンクリート診断士会・年次大会（青森）が 2024 年 10 月 10 日、新ねぶたの家「ワ・ラッセ」交流学習室 1（青森県青森市青森駅前）に於いて青森県コンクリート診断士会（共催）の下開催されました。

10 日午前 10 時半より「会員による保有技術・4 件」、午後からは会員による業務体験・11 件」の発表がありました。添付資料-1 参照



奈良 裕（青森県コンクリート診断士会会長）の開催挨拶、奥村 智弘（JCD・技術部会・副部長）による司会進行、そして冒頭に今回から「優秀報文に選ばれると表彰される」との表明がありました。審査結果は懇親会の席で発表されるとのことで始まりました。

保有技術の発表に TCD から「サーキュラーエコノミー実現に向けた取り組みと環境配慮型コンクリート」の演題で三和石産（株）佐久間誉義氏がエントリーしました。



保有技術：佐久間氏



業務体験：広瀬氏

業務体験発表には、「超音波トモグラフィ装置を用いた RC 造内部の変状調査事例について」の演題で広瀬知晃氏からありました。

どの演題も素晴らしく、それぞれに高い技術を有するとの評価を受け優秀賞の選定に審査員も苦労されたとのことでした。

- ・保有技術部門 「補修工事における生産性向上技術「佐官アシスト工法」
- ・業務体験部門

最優秀賞 「橋梁メンテナンス体験施設の建設と今後の活用効果について」

音道 薫氏・阿波 稔氏（青森県）

優秀賞 「木コンクリート橋」～その歴史と構造～

松浦 寛司氏（島根県）

優秀賞 「下面増厚工法によって補強された大垣橋 RC 床版の 20 年経過後の補強効果について」

財津 公明氏（大分県）

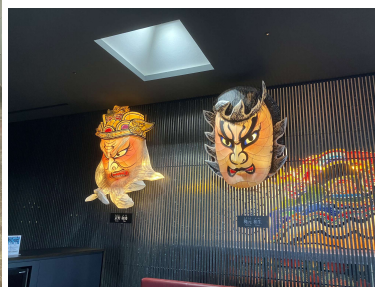
以上が選ばれた発表でした。



懇親会で青森文化（食事・三味線）を堪能

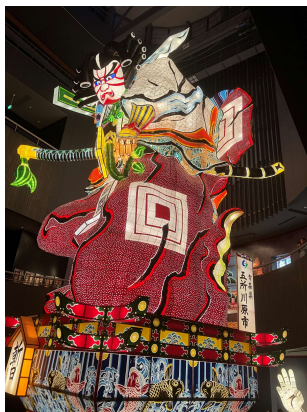
ワラッセ館内・ねぶたミュージアムにある青森ねぶたのミニチュア

ねぶた祭り：青森ねぶた祭り（青森市）、たちねぶた祭り（五所川原市）、弘前ねぶた祭り（弘前市）の 3 大ねぶた祭りがあるそうです。



① ワラッセ・ねぶたミュージアム（青森ねぶた）

- ② 立佞武多館（立佞武多 3 台/2022 年、2023 年、2024 年製作）：高さ/20m、重量/16t の立佞武多



※ 右端にハンドルが付いている。

五所川原市の街は高層ビル等の建物が少なく、街のどこからでもこの壮観な立佞武多の巡行が見えるであろう。

「現場見学会」

青森県・駒込ダム建設現場を見学。工期が 2019.3.16～2031.11.28 と約 13 年と長い年月をかけての工事である。但し、冬期（11 月～4 月）は工事休工となる。

建設工事の概要は別添資料を参照。



五所川原市立倭武多館見学

津軽三味線会館、太宰治記念館「斜陽館」を見学



太宰治記念館「斜陽館」



津軽三味線（五所川原市金木町が発祥の地）

青森を堪能し、帰途の新幹線へと・・・

青森県コンクリート診断士会の幹事さん！ありがとうございました。